

2020年4月14日
サンデン・ビジネスアソシエイト株式会社

サンデンフォレスト SEGES(社会・環境貢献緑地評価システム) 最高評価ランク「緑の殿堂」認定

サンデンホールディングス株式会社の保有するサンデンフォレスト（管理会社：サンデン・ビジネスアソシエイト株式会社）は、公益財団法人都市緑化機構が運営する、SEGES[※]（シージェス：社会・環境貢献緑地評価システム）において、最高評価ランクである「緑の殿堂」に認定されました。

SEGES の認定は、「そだてる緑」のステージとして、意欲が評価される Green Stage から、Excellent Stage 1～3、高い貢献度を長年維持することで取得できる Superlative Stage の5段階があります。

「緑の殿堂」（Green Legacy）は、SEGES 認定を10年以上継続している緑地で、緑地を通じた社会・環境貢献性が極めて高く、その取り組みがそだてる緑「Superlative Stage」として相応しいと評価され、「Superlative Stage」を3回連続して更新し、他社の模範となる等の功績が認められる緑地に認定されます。



サンデンフォレストは、2002年に「環境と産業の矛盾なき共存」というコンセプトのもと、21世紀に通用する環境共存型の工場を目指して、群馬県赤城山の南麓に建設しました。土地64haの半分を「近自然工法」で自然環境を取り戻せるように整備し、残りの半分を工場用地としました。緑地には全長4kmの散策道、希少植物の保護地域、環境学習向けのフィールド、森の教室などを設け、学校の校外学習や市民団体の活動に広く活用されています。

今回、SEGES 評価・認定委員から「森の中に工場を配置したモデルとして『環境と産業の矛盾なき共存』を実践し、18年間を経て、新しい緑地価値が創造され、地域社会に多大に貢献している点を高く評価しました。特に、里山再生の手法を活用し、社員・地域住民がサステイナブルな管理に参加する姿は、他社のお手本とも言え、特筆すべき点と言えます。サンデンフォレストの理念はESG経営そのものであり、取り組まれているさまざまな自然環境活動は、日本が世界に発した「SATOYAMA INITIATIVE」にも繋がっています。」とのコメントをいただきました。

認定式は本年秋に予定されています。

※SEGES（Social & Environmental Green Evaluation System）とは、事業者が所有・管理する緑地の価値を、その取り組みが市民や環境、社会にとっていかに有益なものかを客観的に評価する「緑の認定」制度